

J A 三原自己改革取組宣言

これまでも、これからも、組合員・地域の皆さまとともに
JA 三原は「総合事業」を展開します。

☆ 農業者の所得増大・農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。

このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。

そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、
みんなの願いをかなえていく組織です。

☆ JA は、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、さまざまな事業を総合的に展開していきます。

農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

☆ 農業以外の方でも、JA各事業をご利用して頂いている方を、JAの応援団として准組合員に加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで事業運営をしているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業関連施設の投資が可能です。

いわば、組合員と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業と暮らし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

主な取り組みは次のとおりです。

（※ 詳しくは、営農課にお問い合わせ下さい。）

① 災害復興支援事業（令和元年度～3年総額1,000万円）

平成30年7月の豪雨災害により被災した圃場を有する方で、営農を再開し再生産に取り組まれる方に、再生産に必要な資材・土壌改良剤の一部を助成します。

② 生産応援事業（令和元年度予算額②と③合計額1,000万円）

米・野菜・柑橘・落葉果樹等生産応援事業と土壌条件改良応援事業として、省力・低コスト化・品質向上等に取り組むための農業機械等の導入費用の一部を助成します。

③ 担い手支援事業

チャレンジファーム広島・三原農場での研修を終了し、トマトを基幹に新規就農される方、認定新規就農が見込まれる方を対象に、新規就農に必要な施設・機械等の導入費用の一部を助成します。

【具体的な取り組みは、中期計画（令和元年度～令和3年度）をご覧ください。】